

## 第4章 県政への自由意見について

県に力を入れて欲しいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。(問4)

### 【集計の方法】

回答は、内容からA～Nの14項目に分類した。同一の回答者が複数分野にまたがる意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

### 1 自由意見の項目別件数

| 項番 | 項 目                    | 件数    |
|----|------------------------|-------|
| A  | 少子化対策・子育て支援・結婚支援に関すること | 103   |
| B  | 移住・定住に関すること            | 37    |
| C  | 女性・若者の活躍支援に関すること       | 25    |
| D  | 地域社会の維持・活性化に関すること      | 45    |
| E  | 商工業・雇用・労働に関すること        | 176   |
| F  | 農林水産業に関すること            | 39    |
| G  | 観光に関すること               | 36    |
| H  | 文化・スポーツに関すること          | 20    |
| I  | 道路・交通ネットワークに関すること      | 82    |
| J  | 健康・医療・福祉に関すること         | 83    |
| K  | 教育に関すること               | 35    |
| L  | 県土の保全・防災に関すること         | 4     |
| M  | 身近な生活・環境に関すること         | 50    |
| N  | 県政全般に対する意見・その他         | 282   |
|    | 合 計                    | 1,017 |

## 2 主な自由意見

722 人から、1,017 件の意見があった。一部を抜粋して掲載する。誤字等は校正しているため、掲載文は回答の原文とは異なる場合がある。

### A. 少子化対策・子育て支援・結婚支援に関すること

- 秋田県の一歩の問題は少子化と思われまふ。高齢者ばかり増え、人口も急激に減少している現状では有効な政策はないのかもしれませんが、おもいきった大胆な今までと違うことを実行しないと解決には向かわないと思う。若者が結婚して安心して子どもを育てていける環境を整備していくべきだと思う。(男性／40歳代／秋田地域)
- 少子化対策、保育料や医療費の助成ではなく、子どもたちへの教育と、知恵を出しあって女性たちが子どもを産みたいと考えるような仕組をつくってほしい。人口が増えると多くの問題が解決するのではないでしようか。(性別不明／年代不明／居住地域不明)
- 人口が減少しているのですから子どもを産める環境をもっと充実させるべきです。私の家では里帰り出産で帰省中の娘と孫がいますが、私も主人も働いているので、地域で使える施設やサービスの少なさを実感しました。子どもを産んでほしいと沢山の人が願っているのであれば、サポートを充実したものにしてほしいです。赤ちゃんかわいいですよ。(女性／50歳代／北秋田地域)
- 出産後、仕事をする時に保育園が決まらず大変でした。妊娠し、出産した後、社会復帰するまでの道すがきちんと整っていないと、少子化はどんどん進んでしまうような気がしました。(女性／40歳代／仙北地域)
- 待機児童を減らすための保育施設の増加をしてほしい。妊娠後退職した場合の生活援助や、マタハラを受けた場合に気軽に相談できる所がほしい。(女性／20歳代／北秋田地域)
- 子どもの施設を充実させてほしい。休日など遊べる公園がない。水あそびができたり遊具がある公園は県内に数ヵ所のみ。自宅周辺には全くないので、もう少し遊べる場所を整備してほしい。(女性／30歳代／仙北地域)
- 子ども(幼児)が室内で遊べる施設を増やしてほしい。(女性／40歳代／仙北地域)
- 安心して子育てできる社会(秋田県)になることを望む。(男性／70歳以上／由利地域)
- 魅力ある企業の誘致・少子化対策のために子育て支援も大事だが、その前に、結婚支援や男女の出会いの場を設けるイベントなどあればよい。あきた結婚支援センターがあることを、このアンケートの資料で初めて知った。もっと大々的にアピールしてはどうか…。(女性／50歳代／秋田地域)

- 少子高齢化が日本一進んでいる現状において、不妊治療に対する施策がまだまだ不十分だと思います。力を入れている病院も少ないです。また、治療に対する社会の理解も足りないと感じます。保険外治療のため、治療費用も高額ですし、また時間もかかります。国の施策に全く期待できない以上、県に期待したい夫婦は沢山いると思います。以前読んだ専門誌では、不妊治療に力を入れている病院一覧に秋田県の病院は「0」でした。晩婚化が進んでいる現在「欲しくても作れない」「産みたくても産めない」環境にいる家庭にももっと目を向け、理解を深めてもらい、不妊治療や出産、養育に対する支援の拡充を切にお願いしたいです。(女性／40歳代／雄勝地域)

## B. 移住・定住に関すること

- 地元に残ろうとする若者の増加促進。(女性／10歳代／雄勝地域)
- 秋田県の人口減少についてニュースを見ていると毎年心配になります。増加は難しいかもしれませんが、減少を少しでも緩やかにできるように県外への流出を防いでほしいです。(男性／30歳代／秋田地域)
- Aターンについて、結婚をしている場合の住まいの保障や様々な相談等に取り組んでいただきたい。戻っては来たが結局他県へ移ったという話を多く聞いております。アフターケアをしっかりとお願いしたい。(女性／60歳代／秋田地域)
- 秋田県は少子高齢化であることから人材確保、人口流出減、移住増に向けて少しでも成果を上げる取組をしてほしい。県も市町村と一緒に地域課題に取り組むべきであると思います。(男性／40歳代／由利地域)
- 秋田に定住しなくても、交流や流動する人口を増やすことも地域の活性化につながるのではと思います。(男性／60歳代／仙北地域)

## C. 女性・若者の活躍支援に関すること

- 子どもがいる女性が働きやすいようになってほしい。(女性／40歳代／仙北地域)
- 若者が住みやすいような、暮らしやすいような環境を作る。秋田をもっと明るい話題で盛り上げてもらいたい。(女性／30歳代／由利地域)
- 小学生(子ども)の人数がどんどん減って、どんどん学校が合併されていっています。まわりを見ると高齢者が多い。やっぱり若い人たちが住みたい県を作っていけないと思います。(男性／30歳代／雄勝地域)

- 大学が少ないため大学に進学したい学生は県外に行くしかありません。県外に出た学生もバイトの給料とか遊ぶ地の多さを知ると秋田にあまり魅力を感じなくなってしまうと思います。若者が住みやすく、働きやすい環境づくりに取り組んでほしいと思います。（女性／20歳代／秋田地域）
- 若者にとって何が魅力的な生活なのか、アンケートをとるなりしてほしい。特に高校3年生。大学4年生。（男性／20歳代／仙北地域）

#### D. 地域社会の維持・活性化に関すること

- 高齢化、少子化が年々進むにつれて生活に不安があり、地域活動にも限りがあるので心配に思っている。住宅を見ても一人暮らしの方が多く無人化になり淋しくなっている。行政だけでは対処しきれない問題ではないかと思われます。（男性／40歳代／由利地域）
- 高齢者のため、移動販売の導入、促進をしてほしい。（女性／50歳代／北秋田地域）
- 高齢者の独居が多い。血縁者がそばにいない、誰もいない、ということが多くなっている。対策を考えてほしい。（女性／40歳代／北秋田地域）
- 秋田県は秋田市にのみ様々なものが集中しており、地方はどんどん人口も減っていております。そのことに老後の不安も感じています。地方の活性化に力を入れてくださると、大変ありがたいです。（女性／50歳代／山本地域）
- 移住政策より、まずは魅力的なまちづくり。（男性／40歳代／秋田地域）

#### E. 商工業・雇用・労働に関すること

- 若い人達が働ける企業が少ないと思うので、もっと魅力的な働く場を確保してほしい。（女性／50歳代／仙北地域）
- 高校生と話すと、地元で働きたいと話すが、職場がないと、県外へ出ることが多い。若い人が働ける場を増やしてほしい。（女性／40歳代／北秋田地域）
- 若い人が就職活動をする中で、県外へ出ようとする姿をたくさん見てきました。秋田に魅力がないからだと思います。県外に出ていった若い人が、やっぱり秋田が一番住みやすいと戻ってきた話もよく聞きます。最初から県内就職を望むような、魅力的な職場が増えることを願います。（女性／50歳代／秋田地域）
- 息子が県外で働いています。県内で働けるような事業所があれば戻ってきたいと言っています。もう

少し力を入れて取り組んでほしいと思います。（男性／40歳代／仙北地域）

- IT企業などより高度な産業の誘致。私の息子もそうだが、若い人が都会で身につけた技術、知識、経験を生かせる企業が増えると秋田にリターンできる。官民で力をあわせてほしい。（女性／60歳代／秋田地域）
- 少子高齢化が全国問題となっている今日ですが、その少ない若い働き手をなんとか都会や県外に流出するのを止める手段として、やはり働く場の確保が重要であると思います。県内地域の特色などをPRして、企業を誘致していただき、県内の工業団地・造成地の活用など自治体と一緒に頑張って積極的に押し進めてほしいと願っております。相手のあることなのでなかなかむずかしいことと重々察しておりますが、未来の秋田県のためによりしくお願いします。また、県内企業さんにも自社のPRを大いに発信していただき、会社説明会など積極的に高校や大学に足を運んでいただいて人材の確保につなげてもらいたいと思います。（男性／70歳以上／雄勝地域）
- 企業誘致に地域差があると感じている。（女性／70歳以上／山本地域）
- 若い世代の給料アップ。（男性／20歳代／平鹿地域）
- 最低賃金の向上。（男性／50歳代／秋田地域）
- 秋田の時給、給与が安すぎる。若者が秋田を離れるのもそこが大きいのではないか。（女性／40歳代／秋田地域）
- 全体的に賃金が安すぎると思う。働き方の多様性が全くと言っていいほど低い。少子高齢化というものの、このような状況で結婚や出産はとても厳しく前向きには考えられない。（女性／20歳代／山本地域）
- 若い方と年配の方には色々な取組があるが、その間の世代はおろそかにされているように思います。一番働いている世代にも、就職しやすくしたり（再雇用が難しいので）、休日を取りやすくしたり等、何かしらあってもよいのでは？（女性／40歳代／北秋田地域）
- 若者だけでなく中高年も転職や新しい職にチャレンジできる何かがほしい。ひいてはそれが自殺予防にもなり、結婚、出産、新しい子ども達の為になると思う。（男性／40歳代／鹿角地域）
- 高齢者、身体の不自由な人、病気の人、介護をしている人など、毎日や長い時間働くのは大変でも、短時間や週1とか週2～3など、少しだけだったら無理なく働けるし働きたいという人は、たくさんいると思います。こういった人たちの労働力を、海外や県外から労働力を入れる動きと並行して生かしていく方法を考えてもらいたいです。（女性／50歳代／秋田地域）
- 産業振興については、全ての面に欲張ってまんべんなく予算を使うのではなく、全国、あるいは世界

でトップクラスになれるくらいの産業を1つでもいいからつくってほしい。（男性／30歳代／由利地域）

## F. 農林水産業に関すること

- 農水産に関しては、作り手が高齢となり、今後がとても心配しております。全国的に同じ問題をかかえていることは承知しておりますが、意欲のある若い作り手を育てていただきたいと思います。（女性／60歳代／鹿角地域）
- 農業に関してですが、米作りだけの農業から転作をもっともっと進めるべきだと思います。若い人がもっと農業や林業に従事してほしいです。（男性／50歳代／北秋田地域）
- 米偏重からの脱却（果樹・園芸生産の支援）（男性／30歳代／秋田地域）
- 林業の再生に力を注いでほしい。特に秋田スギの販売。（男性／60歳代／北秋田地域）
- このまま農業従事者がいなくなってしまうたら、秋田県はどうなるのでしょうか。農業、林業、水産業を継続していくことが、この県の生き残っていける道だと考えます。今後、AIの活用、一次産業を研究できるような大学の誘致。新しい農業（一次産業全て）の基盤を作れるよう、未来の「食」を率先して守っていかなければいけないと思います。それができる県は、そう多くはないと思うのです。（女性／40歳代／秋田地域）

## G. 観光に関すること

- 県内外への観光のPR活動にもっと力を入れて観光客を呼び込むことが秋田県に潤いをもたらすと思います。他の県の方々によく言われます。こんなに良い所なのに、PRが少ないから秋田のことを知らない人がたくさんいると。（女性／60歳代／仙北地域）
- 観光資源や特産品は多くあると思うが、それをうまく利用しきれていないと思う。例えば、讃岐うどんを食べるためだけに香川県を訪れる人は多いが、稲庭うどんを食べるために秋田県を訪れる人はあまりいないように思う。また、秋田犬も注目されているが、実際、秋田犬のブリーダーは県外の方が多く思う。県が率先して、秋田犬のブリーダーを増やす施策を示すべきではないか。秋田犬のふれあい処などの設置をしてはいるが中途半端。もっと県外から、わざわざそのために来訪するような施設が必要。そういったPR活動が弱いと思われる。観光資源や特産品を生かしきれていない。（男性／40歳代／秋田地域）
- 県外から帰省した友人と遊ぶ時、連れて行ける程楽しい所がない。“角館の桜”や“大曲の花火”など特定の時期でなければ観光できるスポットも少ないように思う。（女性／20歳代／由利地域）

- 観光地から他の観光地へのアクセスが遠いので、（例：秋田中央から県南へという1時間以上かかってしまう）など、移動の間飽きさせない工夫が必要。その市町村だけの観光を考えるのではなく、県北、中央、県南くらいの広い地域でまとまって大きなイベントができたらと思う。冬になると雪が降るので、交通の便も悪くなり、皆余計に閉じこもりがちになるが、雪を逆手にとったイベントがほしい。例えば、他県から来た私にとっては除雪機、とっても珍しいので、除雪機のイベントがあってもいいと思う。（女性／40歳代／仙北地域）
- 外国人観光客を増やす対策。（男性／40歳代／北秋田地域）

## H. 文化・スポーツに関すること

- 文化、芸術に若い頃から触れる機会を作ってほしい。（女性／50歳代／秋田地域）
- プロスポーツで、ノーザンハピネッツやノーザンブレッツのような、市民も応援しやすい組織ができ、とても喜ばしいことです。老いた人にも、成人、子どもに対しても、夢と希望を心に、胸に活力を与えてくれています。このような取組について、“東京オリンピック”もすぐそこにある今、県民皆で喜びを、希望を分け合って、持続、成長していければと思います。県の方でもよい環境で行なえるよう応援して下さい。（女性／60歳代／平鹿地域）
- 秋田は四方を海山に囲まれて陸路、鉄道の便が悪い環境にあるが、それを逆手にとって、なかなか来づらい所をアピールする方法もあるかと思います。ただし、県外から注目を浴びなければ、そもそも来る人もいないと思うので、イベントであったり、文化施設、自然景観の整備、IT文化、スポーツ文化、ポップカルチャー面の充実を図り、高齢人口県（伝統）と若者文化のバランスがとれた環境に取り組むやり方もあると考えています。（男性／50歳代／仙北地域）
- 男鹿フェスがあるから県外には行かずに秋田に就職するという若者がいるそうです。ロックといえば秋田、ぐらいにロックの聖地になればいいなあとと思います。高齢者も障害のある方も一緒に音楽フェスを楽しめたら最高です。スポーツも大切ですが音楽イベントが増えたら嬉しいです。（女性／40歳代／秋田地域）
- スポーツに強い県になってほしい。マイナー競技にあえて特化して日本一、世界一の選手を育成してほしい。（男性／40歳代／秋田地域）

## I. 道路・交通ネットワークに関すること

- 交通の便をもう少しよくして色々な分野が発展できるようにできないものかと思う。イベントが行なわれても移動を思うとやめようかなとか、学校を選ぶ時も、そんなに時間がかかるのなら都会の方がいいのではとか考えてしまいます。（女性／50歳代／仙北地域）

- 県民の住み心地について、やはり電車の頻度に問題があると考えます。私は普段奥羽本線を利用していますが、学校やバイト後の駅での電車待ち時間がとても長く、嫌になってしまいます。現在秋田県は人口の減少に困っているといった状況であると考えています。その要因の一つは、公共交通機関が活発でないことが挙げられると考えます。秋田での労働人口を増やそうにも、そもそも通勤に不便があるのでは若い人材は離れてしまうのではないのでしょうか。（男性／１０歳代／仙北地域）
- 高速道路の整備、新幹線の整備を早急に取り組むべき。東京～大阪間が新幹線で３時間で行ける時代に、３時間３０分かかる秋田にわざわざ来ようとは思わない。（男性／３０歳代／秋田地域）
- バス路線の確保。遠方、学校の近くにはもっと本数がなければ。（女性／４０歳代／秋田地域）
- 交通網の発展、整備。（男性／２０歳代／山本地域）
- 交通整備もしっかり行ってほしい。道が悪い所が多いので道路を直して行ってほしい。（女性／２０歳代／秋田地域）
- 秋田県の道路事情は、他県と比べてもっとも遅れていると思います。新しい道路は急いで作らなくても現在ある道路を整備することで、今の車社会に対応することで物流が増え、観光客も自ずと増えてくるのでは？また休憩施設の道の駅（トイレ）なんかも整備することで人が集まるのではないかと思います。（男性／６０歳代／北秋田地域）
- 高齢者が免許返納しても、交通手段に不便しないように取り組んでほしい。乗り合いのバスを多くするなど、定額で乗り放題のバスやタクシーを出すなど。（女性／２０歳代／秋田地域）

## J. 健康・医療・福祉に関すること

- 特定健診などもっと多く検査が受けられる病院をつくってもらいたい。（女性／４０歳代／秋田地域）
- 介護施設の利用時に思ったことですが、身体が不自由（多少あっても）な方にも、施設での手伝いをさせてくれば、認知症の進み方が違うのではと思いました。（タオルをたたむとか）（女性／５０歳代／秋田地域）
- どこに暮らしていても、医療が公平に受けられる体制を保ってほしい。健康があつてこそその生活であるため。（女性／４０歳代／由利地域）
- 今後は老人が増えて行くことから、一層の福祉の充実が求められると思うので力を入れていただきたい。（男性／６０歳代／北秋田地域）

- ひきこもりの人に対する取組。友達の子どもが、ひきこもっている。同じ親として、とても考えてしまう。（女性／50歳代／秋田地域）
- 一人で悩みを抱えたまま自殺してしまう方のことを思うと、ニュースや記事を見るたびに苦しい。誰かに話せたら、話してみる勇気があれば、話せる場所があれば。そういう場所も、話を聞いてくれるところもあるのに、それを知らずになのか、それもできずになのか、亡くなる方がいる。予防対策がもっと進み、苦しんでいる方を救ってほしい。（女性／40歳代／秋田地域）
- 自殺の無い、起きないように力を入れてもらいたい。（男性／70歳以上／鹿角地域）
- 高齢者の孤立の話もよく身近に聞くので、地域や施設等と連携のとれる体制などの向上も必要と考える。（女性／40歳代／秋田地域）

## K. 教育に関すること

- 子どもの教育は、社会的に分け隔てなく育てる環境を整備して、教員が意欲的に教育活動に取り組める教育現場の形成に勤めていただきたい。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 高齢者だけでなく、子どもに優しい県にしてもらいたいと思います。全国トップクラスの成績はすばらしいですが、毎日の宿題が多すぎてかわいそうです。秋田県の家庭学習ノートはたしかに実になるものだと思いますが、そこにとらわれることなく、効率の良い勉強方法をどんどん取り入れていくべきではないでしょうか？タブレットの導入など。（女性／30歳代／由利地域）
- 少子化が進む一方で、これからの未来を担う子どもたちにかかる様々な負担が多くなると思います。子どもたちを育てるのは大人の責任です。秋田県は学力が全国でも上位を維持していますが、同時に若者の自殺率が増えているのも事実です。学力、豊かな心、未来を担う強さを育むには、多くの大人の目が必要だと思います。教員の増員、地域と学校教育の連携強化、余裕ある家庭生活に向けて取り組んでほしいです。（女性／20歳代／雄勝地域）
- 若者の県外流出を防ぐために大学を増やす。昔に比べると大学数も増え、学部の数かなり増えているが、まだまだ選択肢が少ない。（女性／50歳代／秋田地域）
- 子どもたちが通う学校の設備についても、ここ数年問題になっているエアコンの設置等を早急に行ってもらいたいと思います。予算の問題もあるとは思いますが、子どもたちの体に関わることだと考えれば、一刻も早い設置を望みます。（女性／30歳代／秋田地域）

## L. 県土の保全・防災に関すること

- 自然災害への対策（河川、近くに川があるので）。（女性／40歳代／平鹿地域）
- 防災意識向上のために、地域の避難訓練など、全員が強制参加としてはどうか。（女性／30歳代／北秋田地域）

## M. 身近な生活・環境に関すること

- ごみの削減、リサイクル活動に力を入れてほしい。ごみを分別、回収し、100%再利用できるような仕組みを考え、企業側にも働きかけてほしい。服やプラスチック製品などの回収BOXがあると思う。（女性／30歳代／秋田地域）
- 動物愛護殺処分ゼロを目指す。保護団体への支援も必要。ペットショップより譲渡で引き取る方が増えてほしい。（女性／40歳代／秋田地域）
- 森の中に行かなくても、熊やたぬき、鹿など、道路で見かけることがあるので、対策した方がいいと思う。（女性／10歳代／秋田地域）
- 雪の多い地域に住んでいるため、労力、時間、経済的に今後住み続けることができるか不安に感じています。雪にかかる費用等の助成や労働力の軽減などの対策があれば、もう少し人口の流出が防げるのではないのでしょうか。他のことについては、県としての対応をニュース等で知っているのですが、雪に対する対応はボランティアなどしか分からず、何か対策しているのかもわかりません。（女性／40歳代／雄勝地域）
- 交通事故・酒気帯運転が起きないように力を入れてもらいたい。（男性／70歳以上／鹿角地域）

## N. 県政全般に対する意見・その他

- 人口減少に対する取組にもっと力を入れてほしい。（女性／60歳代／秋田地域）
- 人口が減少しても秋田に暮らす人が皆幸福と感じる社会づくりをする（人口は増やすことは無理、発想を変えること）。（女性／50歳代／北秋田地域）
- 本県は年々人口減少が続いている。少子化対策も必要だが、どうすれば人口が増えていくのか、多面から考えてほしい。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 秋田らしさとは？と考えることがありますが、義務教育課程の学力の高さとか、自然の多さとか、米

の有力産地であるとか…e t cありますが、そのどれもが他県に比べて認知度が低いと思う。今一度その素晴らしさをアピールし、田舎なら田舎ならではの良さを発信していけたらいいのではと考えます。(男性／50歳代／鹿角地域)

●いろいろ取組をしていると思いますが、県民の皆さんが興味のある、又は興味が湧くようなアピールがされているかどうか全然伝わってこない。ホームページをご覧ください、とかのPRはあるが、見られない人達への対策はどうか。(男性／60歳代／平鹿地域)

●秋田の強みを知る機会がほしい(売れている特産品、企業等)。(男性／20歳代／仙北地域)

●県の実情が(良・悪両方)分かりづらい(情報提供の仕方及び内容)(新聞、広報は必ず目を通して見るが…)。もしかすると、意識に残っていないのかも知れませんが、「そうなんだ?」と認識できる情報提供をしてほしいです。実は大変興味があります。(女性／50歳代／平鹿地域)

●高齢者には十分な医療とレジャーを。他県の高齢者のおしゃれで活動的な場面に驚くことがある。これも意識の問題かと思う。これまでの常識にとらわれず、高齢化してしまった秋田の人々が無理なく、自分らしく生きることのできる豊かな秋田を目指して、これからも頑張ってください。(女性／40歳代／仙北地域)

●大型レジャー施設の建設。(男性／50歳代／秋田地域)

●遊びに行く場所が少ない。(女性／40歳代／平鹿地域)

●イージス・アショアの調査で誤データが確認されました。そのようないい加減さでは何も信じられません。「新屋ありき」で、住宅地や学校が近い演習場がなぜ配備地なのかという根本的な疑問が地元で根強いといいます。また、強力な電磁波が本当に人体には影響がないのかも疑問に思います。「地球温暖化対策」にも少なからず影響があると思います。そもそもイージス・アショアを配備しなければならない状況に危機感を覚えます。以上、要望というよりは、最近感じていることを書いてみました。(女性／50歳代／仙北地域)

●イージス・アショアについて、「迎撃ミサイル」であり安全保障上の国土防衛と言っていますが、どう言っても戦争の武器です。安全などあり得ない。ミクロで安全と言っているが“木をみて森を見ず”である。知事も、議会もしっかり反対と言うべき。検討、調査、全てムダである。秋田県に、日本本土にイージスはいらぬ。(男性／70歳以上／秋田地域)

●イージス・アショアについて、地域的に人が住んでいる所の近くに設置すべきではない。県の中核である県庁・市役所にも近い所に、無理やり埋立てや道路を移設してまで受け入れることはない。仮に交付金などがあつたとしても、地域住民や秋田県の価値を下げては何にもならない。観光といっても、危険な所に人々は来ない。長い目で見ると秋田の為にならないことは明白である。購入資金で国民の生活水準や社会保障の費用に当てた方がよい。他の国と円満にやطيعる環境を作ることができる

秋田であってほしい。(女性／60歳代／秋田地域)

- イージス・アショアについて、秋田県が設置すれば日本の約半分が防衛できるのに何故設置しないのか。沖縄だけに任せず、秋田県が防衛の一部を果たすのは当たり前ではないか。未だに北朝鮮の弾道ミサイルが頭上を飛んで行ったことを思い出す。秋田にはイフリコギという言葉があるが、今こそイフリコギにならねば。(男性／50歳代／北秋田地域)
- 昨今話題の地上イージスの新屋配備についてですが、国有地以外に秋田県として協力できる配備地がないのでしょうか？メディアの報道を見ていると新屋配備ありきで事が進んでいるようにも思えます。個人的には地上イージスの配備は賛成なのですが、あの住宅地に近い配備地には甚だ疑問です。かといって配備地を他県に変更することにも賛成できかねます。防衛的、地政学的には秋田、山口が最適なのでしょう。加えてこの反対運動によって他県に変更することになれば、秋田県民の国防意識欠如を疑われるでしょう。ここは秋田県がリードして最適地を譲渡するぐらいの覚悟で進めてもらいたいです。(男性／50歳代／秋田地域)
- 各地域振興局など、地域に根ざした部局がありますが、各市町村との協力・連携など、積極的に行うことでよりよい行政につながると思います（各行政はどちらが上下（主従）の関係ではなく対等な関係で地域へ行政サービスを還元していくべきではないでしょうか。）。(男性／40歳代／雄勝地域)
- 県として、秋田市ばかりが発展するのではなく、他の市町村も発展するように考えてほしいです。(男性／50歳代／鹿角地域)
- 限られた財政の中で、いかに県民を動かせるか。人口は減る、若者はいない。しかし、私たちはここで生きていかなければならない。周りと共に生活していくしかないのでは…。(女性／60歳代／仙北地域)
- 秋田は秋田の自然、秋田の良さを生かし、他県や都会の真似はしないで秋田に合った秋田らしい施策で進んでほしいと願っています。秋田県は農業県の田舎でよいと思います。ゆっくり生活できて人の良さを大切にする施策をのぞんでいます。(男性／70歳以上／由利地域)
- 全国ニュースなどでは、必ずと言っていいほどネガティブな数値では日本一になっている。そのような数値が少しでも改善するように頑張してほしい。(男性／50歳代／仙北地域)
- 他県ができないこと、まだやっていないことをおもいきって秋田でやるべき。新しい物を作る時、いつも中途半端だと思います。おもいきりが大切だと思います。(男性／30歳代／秋田地域)
- 住んでいる部落（田舎です。）のそばに小学生、中学生等、子どもがほとんどいません。老人ばかりで、ひとり暮らしの人も多いです。これから先、自分も老人のひとりとして、車がないと買い物にも行けないし、色々考えると不安なことばかりです。現実の地域を見て、何か自分も関わっていきたいと思いますが、県の方でも、色々現実を見て考えてほしいと思います。(女性／50歳代／仙北地域)

- 秋田の人口減少に対して様々な取組がされていることは伝わってきます。私のまわりでも県外から帰ってきて、これまで学んだことを生かし、秋田のため、地域のために活躍している人、がんばっている人が沢山います。ただ秋田に長く住んでいると、そういう人達というのはごく一部にすぎなくて、大半の人が「なんとかなる」「関係ない」「誰かがやってくれる」「何も変わらない」という意識が強いように感じてなりません。それが選挙の投票数に現れていると思います。もっと若い人が声を上げて、30代、40代の今まさに子育てをしている人が将来の子どものことを考え、声を上げていかなければ、秋田の未来、日本の未来はないように感じ不安になります。県でももっと若者が選挙に行くように何か対策を取ってほしいです。(男性／30歳代／秋田地域)
- 子育てや仕事、取組等がたくさんあっても、県民一人一人の意識が高まっていなければ、なかなか形になる事は難しいのでは…と、生活している中で感じることがあります。(女性／30歳代／北秋田地域)
- 今回の調査で秋田県としていろいろなことに取り組んでいることに気づかされました。後は自分自身、又は県民一人一人の問題意識ではないでしょうか？一人でも多くの方が興味を持ち、取り組める場をもっと増やしてほしいです。漠然とした対策ではなく、私のような庶民でも分かりやすく、取り組みやすいものとしてほしいです。(女性／50歳代／鹿角地域)

